

平成 29 年 2 月 2 日

各位

会社名 株式会社ヤマダ電機
代表者名 代表取締役社長 桑野 光正
(コード番号 9831 東証第一部)
問合せ先 経営企画室 部長 山田 寿
(TEL : 0570-078-181)

株式会社ナカヤマとの業務提携に関するお知らせ

当社は、本日（平成 29 年 2 月 2 日）開催の取締役会において、株式会社ナカヤマ（本社：埼玉県上尾市、代表取締役社長：中山 嘉己、以下「ナカヤマ」）と、将来的な資本提携を視野に入れた業務提携を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 目的

当社グループは、日本最大級のネットワーク・サービスの I o T 企業として、家電販売を中心とした新たな事業領域の開拓と構造改革の推進により、「ゆりかごから墓場まで」のサービス展開による「モノ（商品）からコト（サービス）、モノ+コト」の提案を強化し、将来における持続的成長・発展のため、様々な挑戦を続けており、その取り組みのひとつとして「スマートハウス・リフォーム事業」があります。当社子会社の株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム（東一：1919）や株式会社ヤマダ・ウッドハウスを通じたスマートハウス提案、住設機器メーカーである株式会社ハウステックのヤマダ電機店舗内ショールームの展開（2016 年 12 月末現在：62 ヶ所）を通じた B to B 及び B to C の新たな需要の拡大等、ヤマダ電機グループの経営資源を最大限に活かした取り組みを積極的に行っております。

ナカヤマは、リフォームメーカーとして、商品の開発から製造、販売、施工、アフターサービスまで一貫して行う事で高品質を実現し、業界の慣例や常識を超えた展開は、業界外からも注目を集めています。なにより、日本全国直営店を 100 ヶ所、物流拠点全国 5 か所、国内工場 1 か所、海外工場 1 か所による展開で住宅リフォーム事業全国トップクラスを走る同社は、適正な住宅改修工事から建築設計管理をし、「暮らしやすく お値段やすく」をモットーに、ロコミで広がるような顧客満足度向上に努めております。

本業務提携により、両社の持つ強みやノウハウ活かしたスマートハウス・リフォーム事業の取り組み「2. 取り組みの概要」を推進することで、少子高齢化、人口減、ネット社会等、めまぐるしく変化する社会背景と消費者ニーズに対応してまいります。

2. 取り組みの概要（予定）

- ①ハウステックとナカヤマそれぞれが持つオリジナル商品の強みを活かした展開
- ②ナカヤマの持つ建材及び設備機器の採用
- ③新築住宅販売の情報活用
- ④ナカヤマの持つ「CG・CAD パノラマ&CG シュミレーションシステム」の活用による提案力強化
- ⑤ヤマダ電機グループのリフォームローン活用
- ⑥オリジナル製品の共同開発
- ⑦物流の効率化
- ⑧共同販促等による営業の最適化と最大化
- ⑨新業態の共同開発

など

3. ナカヤマの概要

(1) 名称	株式会社ナカヤマ
(2) 所在地	埼玉県上尾市泉台 3-4-4
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中山 嘉己
(4) 事業内容	住宅リフォーム事業、建築設計管理事業、住宅建材製造事業、設備機器製造事業、CG/CAD サービス事業 等
(5) 資本金	100 百万円（平成 28 年 12 月 31 日現在）
(6) 当事会社間の関係	
資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と当該会社の直接的な取引関係はありませんが、当社 100% 子会社の株式会社ハウステック（住宅設備機器メーカー）からシステムバスの仕入れを行っております。
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

4. 今後の見通し

本件が平成 29 年 3 月期の当社連結業績へ与える影響は、軽微と見込んでおりますが、両社の持つ強みを活かした提携により、中長期的な業績向上に資するものと考えております。

以上